

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	お知らせたかなべ発行業務				開始年度	昭和36年度		
基本目標	広報公聴活動の充実				終了年度	未定		
担当課(局)	政策推進課	担当係	情報政策係	記入者	椎 良平		評価者	森 弘道
21年度決算	千円	22年度予算	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助	<input checked="" type="checkbox"/> 単独		
21年度人件費	2,186 千円	22年度人件費	3,760 千円	事業従事者数	0.30 人	0.52 人		

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	町内の行事、各種届出・申請の案内等を町民にお知らせする
事業の内容	高鍋町民に対し、月に2回発行し、行政事務連絡員を通して配布する

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 配布部数	上記目的のための広報手段として町民の生活に大きな役割を果たした
	2	
	3	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 発行回数	月2回
	2 発行部数	A3両面2色刷りで、1回につき8,600部発行
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度	
成果指標	配布部数	目標値	8,600	8,600	8,600	
		実績値	8,600	8,600		
		達成率	100.0%	100.0%		
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標	発行回数	目標値	24	24	24	
		実績値	24	24		
		達成率	100.0%	100.0%		
	発行部数	目標値	部/回	8,600	8,600	8,600
		実績値		8,600	8,600	
		達成率	%	100.0%	100.0%	
	0	目標値				
		実績値				
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	町が行うべき事業である。お知らせたかなべは、町民にとって最も有益な情報提供手段であるため、事業廃止による影響は大きいものとする。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	より多くの町民に目を通してもらうため、町内全世帯だけでなく、町内公共施設や事業所などにも送付しており、成果は得られている。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	2週間に1回の発行が適当であるとする。また、現在、編集から印刷までのすべてを職員でおこなっているため、これ以上の経費削減は不可能である。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	視覚障がい者に対する「お知らせたかなべ」の点訳をボランティア団体にお願いしている。

事務事業名	お知らせたかなべ発行業務	担当課(局)	政策推進課
-------	--------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等	町民に一番身近な町情報の提供手段として確立しているので、今後も見やすく親しみやすい紙面構成を続けてもらいたい。	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充			
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	◎町政情報を発信するための媒体であり、これ以上の削減などは難しい。月2回のお
	コスト	現状維持	